

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権啓発推進事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例, 鳴門パートナーシッププランⅡ(セカンド)ステージ		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	6年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終期	未定
(小項目)		人権				
施策	1	人権の尊重				
基本事業	1	人権行政の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象		市民														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「人権」に関して理解と認識を深め、問題意識を持ってもらい、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、だれもが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	人権セミナーとして、人権問題を2回(うち同和問題を1回)、男女共同参画を2回の計4回実施する。セミナー参加者へのアンケートの結果を踏まえ、開催時期や開催内容の評価・見直しを行う。①開催時期を見直し、「鳴門のまつり」など他のイベントと重ならないように調整して実施し、市民が参加しやすい環境を整える。②人権啓発活動地方委託事業委託金の要求や執行を見直すとともに、健康づくり課や子どもいきいき課など関係する各課が所管する各種事業と連携して、お互いの強みを生かした財源措置を講じることで、魅力的な講師・講演内容によるセミナーとし、より多くの市民に参加してもらう。③セミナーのバリアフリー化をより進め、パソコン要約筆記の導入に努めることで、集客力を高める。④引き続き、鳴門教育大学との連携を深め、共催事業とし会場の提供や学生への参加案内などを進める。⑤人権の花運動の実施小学校の増加と規模の拡大に努める。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権セミナーへの参加者数</td> <td>450</td> <td>550</td> <td>570</td> <td>600</td> <td>610</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	人権セミナーへの参加者数	450	550	570	600	610	人
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
人権セミナーへの参加者数	450	550	570	600	610	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	人権セミナーとして、人権問題を4回(うち同和問題を1回)、男女共同参画を1回の計5回実施。(四国遍路道での差別張り紙事件が発生したことから、外国人差別もテーマに1回開催。)開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。健康づくり課や子どもいきいき課など関係各課が所轄する事業と連携し、魅力的な講師、講演内容に寄るセミナーとし、より多くの市民に参加してもらう。鳴門教育大学との連携を含め、学生の授業の一部として活用してもらい、若年層の参加を図る。人権の花運動では、対象となる小学校を3校に拡大した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	4	5	4	4	4	回
	2	出張出前講座実施回数	28	37	40	40	40	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	人権セミナーへの参加者数		660	690	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)			125.5	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり					

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	293	0	0	1	294
		全体予算額		0	293	0	0	1	294
		決算額		0	241	0	0	12	253
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1		688		941			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	277	253	436	436	436
	うち一般財源	64	12	1	1	1
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	929	941	1,124	1,124	1,124

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		徳島県ハンセン病支援協会の十川会長を招き、ハンセン病を正しく知ることやハンセン病への偏見や差別について、参加者に生の声を聞いてもらうことができ、多くの方が人権意識を高めた。また各セミナーにおいて毎年開催してほしいとの意見も寄せられた。
	効率性	B:概ね効率的だった		毎年セミナーを開催することで、全ての人権問題について意識が高まっている。
②成果に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数		ハンセン病に関するセミナーを2回開催し、子どもいきいき課、健康づくり課と連携することで、子育て中の年齢層やこれからの子育て世代となる年齢層にあわせ、絵本を通じた人権啓発としたことにより、目標を達成できた。
	目標	550	人	
	実績	690	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		人権セミナーを引き続き開催するとともに、鳴門市男女共同参画推進条例も含めたセミナーを取り入れていく予定である。また、徳島インディゴソックスとの「ふれあい人権スポーツ教室」を活用し、児童・青年期からの若年層への人権啓発に努める。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	セミナーへの集客が増えるような、魅力ある人権セミナーを開催するためには、市民等が興味や関心をもつ事案に着目し、様々な視点から人権を考えることができるようなテーマを基に講師を招へいすることが大切となる。引き続き県の人権啓発事業委託金を活用して継続実施できるよう、工夫しながら講演による啓発を進めていく。また、講演会形式にとらわれず、他課や他団体(スポーツ関係)とも連携して市民・子どもたちに対する啓発活動の充実を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	人権セミナーとして、人権問題を2回(うち同和問題を1回)、男女共同参画を2回の計4回実施する。健康政策課や子どもいきいき課と連携して、引き続き、子育て世代、学生など若年層にも人権啓発する。新たに、地元のスポーツクラブ(徳島インディゴソックスなど)と連携し、同チームの選手とふれあいながら、運動を取り入れ、助けあいや仲間を想うことの大切さを感じるふれあい人権スポーツ教室を開催し、児童・青年期からの若年層への人権啓発に努める。			
	H28年度	前年度に引き続き、人権啓発に努める。			